

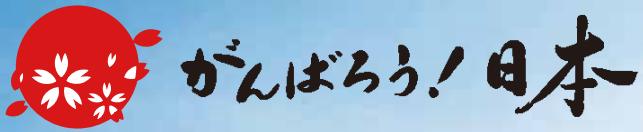
ANTA NEWS

vol.209

2013

3・4

march/april



卷頭特集

第9回 国内活性化フォーラム in群馬を盛大に開催

第228回 常務理事会を開催

二階会長が韓国金塔産業勲章を受章

「ANTA東北観光博応援ツアー」が終了

観光庁が旅行業法施行規則・標準旅行業約款を一部改正

ANTA主催 苦情対応勉強会の開催

平成24年度 会員実態調査集計報告書

特別寄稿 ブータン政府観光局

地球ギャラリーin モサンビーク(JICAの活動)



ALL NIPPON TRAVEL AGENTS ASSOCIATION
社団法人 全国旅行業協会

巻頭特集

第9回 国内観光活性化フォーラム
in群馬を盛大に開催 2~7

全国観光地所在町村協議会からのお礼 7

第10回 国内観光活性化フォーラムin和歌山の開催を決定 7

協会情報

第228回 常務理事会を開催 8

二階会長が韓国金塔産業勲章を受章 9

「ANTA東北観光博応援ツアー」が終了 9

観光庁が旅行業法施行規則・標準旅行業約款を一部改正 10

ANTA主催 第1回 苦情対応勉強会／平成24年度 苦情対応セミナー 11

平成24年度 旅程管理研修を全国7会場で実施 11

震災復興 観光推進国民会議が山形市で開催される 12

平成24年度 会員実態調査集計報告書 14~16

お知らせ(岡崎さくら・わかば回廊十石舟めぐり) 17

特別寄稿

～ブータン～活きた伝統、手つかずの自然、人々の笑顔に出会う 雷龍の国 18・19

特集 地球ギャラリー in モザンビーク (JICAの活動) 20・21

コラム

連載「適正な旅行広告作成のために」(第93回) 22

連載「添乗からのメッセージ」(第17回) 25・26

連載「誰もが安心旅行実現のために」(第12回・最終回) 29・30

協会情報

観光庁 主要旅行業者旅行取扱状況速報 31

平成24年12月・平成25年1月 正会員入会者・退会者 32・33

(株)全旅からのお知らせ 34・35

パズルでひと息／全旅協の動き 36

第9回
国内観光活性化フォーラムin群馬

第228回 常務理事会

ANTA主催
第1回 苦情対応勉強会平成24年度 旅程管理研修
(仙台会場)

写真提供:鹿児島県観光協会

専門情報を制して

観光時代の

風に乗ろう

着地型旅行づくりのヒントも

観光庁の創設で観光需要の盛り上がりが期待されますが、旅行業者として、この追い風を生かせるかどうかは自分次第。業界への新規参入やIT化の進展などで競争の激化も予想され、待ちの姿勢では時代に取り残されてしまうかもしれません。旅行環境や旅行者ニーズは日々変化しており、情報を的確に把握、分析、活用することが必要不可欠です。

国土交通省交通運輸記者会に所属する週刊「観光経済新聞」は、国内観光業界で働く方々に最も読まれている業界専門紙。時の出来事や話題、流行が分かりやすく凝縮されています。しかも1紙あたり約230円、缶コーヒー2本分という安さ。全国旅行業協会(ANTA)が取り組む着地型旅行づくりなど、明日の企業経営にお役立てください。



◆週刊「観光経済新聞」の概要

創刊 1950年(昭和25年)4月1日
発行日 毎週土曜日(月4回)
体裁 A2判(大判)
12~32ページ建て
発行部数 5万9000部
購読料 年間1万1000円
(郵送料、消費税込み)

◆見やすく分類された紙面構成

☆総合面
観光行政、団体などの時事ニュース
☆旅行業・運輸
旅行動向、旅行商品、人事異動など
☆旅館・ホテル・施設・団体
新装・改装、設備投資、業界活動など
☆地域観光
観光スポット、イベント、地域振興など
☆国際観光
訪日外客動向、アジアニュースなど
☆商品・設備
経営に役立つ各種の商品・機器



購読のお申し込みは

観光経済新聞社
〒110-0008
東京都台東区池之端2-7-17
井門池之端ビル
Tel03-3827-9800
Fax03-3827-9730
E-mail:info@kankokeizai.com
支社=関西 支局=北海道、東北、九州

『第9回国内観光活性化フォーラム in 群馬』

で日本を元気に～」として開催された。

国民が過去に体験したことのない大災害に遭遇し、地震や津波



二階会長による主催者挨拶

第9回国内観光活性化フォーラムが平成25年1月23日(水)群馬県前橋市のグリーンドーム前橋にて、当協会の主催、(株)全旅の共催により、全国各支部の会員、観光関係者及び地元の一般参加者など約5700名の来場の方に開催されました。

来場のもと開催された

崛起

と前に審査所が倉詰され、
審査所

二階会長と武井群馬県支部長による縁起だるまに目入れ

である」と力強く語った。また、福田康夫名誉実行委員長より挨拶がなされ「日本は観光立国と言つて久しいが、今から10年ほど前に観光庁が創設されて、観光政策も実行しつつある。国内外に潜在的なお客様がいるので、これからも、旅行業や観光業が果たす役割は非常に大きい」と話された。続いて来賓挨拶として、観光庁の井手憲文長官、群馬県の大澤正明知事、前橋市・山本龍市長よりそれぞれ祝辞が述べられた。



武井地元実行委員長(群馬県支部長)による開会挨拶



井手觀光庁長官による基調講演

客数の伸び率は想定数に達していない。これを踏まえ、「東北福幸キャンペーン」や「サンセットスタンプラリー」を新たに展開している。また、東北観光博の開催によって、東北の旅行イコール復興につながることが、認知されてきている。そして、被災地の視察・ボランティアと周辺観光地の観光を併せたツアーションキャンペーンなどを追い

A photograph showing two men on stage. The man on the left is wearing a dark suit and glasses, standing at a podium and reading from a large, light-colored document. The man on the right is also in a dark suit and glasses, standing slightly behind him and wearing a red ribbon or bow tie around his neck. They appear to be at a formal event or ceremony.



第3回地旅大賞表彰式



山本前橋市長による来賓挨拶



大澤群馬県知事による来賓挨拶



福田名誉実行委員長による開会挨拶

①では、有識者により構成された観光産業政策検討会を設置し、日本の観光産業全体が大幅なレベルアップを図ることによると、観光ブランドの確立と、世界最高・最先端の観光産業への飛躍を目指す。また、関越自動車道における高速ツアーバス事故、中国万里の長城付近の遭難事故等の発生を踏まえた再発防止策の策定など、旅行の安全の確保に向けた取組を推進する。

②では、企業と連携して外出・旅行を楽しむための休暇取得を積極的に促進し、長期的には、成熟したライフスタイルの定着に寄与する「ボジティブ・オフ」運営や各地域で、大人（企業）と子ども（学校）の休みのマッチングを行なう「家族の時間づくりプロジェクト」を推進する。③では、観光による被災地の復興支援事業として、東北観光博を実施している。これは、平成25年3月末までの期間、東北地域全体を

訪日促進プロモーションの展開、企業、国内宿泊施設と連携した国際会議等のMICE分野における国際競争力の強化に向けた取り組みを、それぞれ推進していくと述べられた。

続いて、東北観光推進機構の長谷川博樹国内事業部事業部長より、「東北の復興について」の現状報告がなされた。報告では、東北地方全体の宿泊客数は、震災前までの水準に回復しているが、観光主体の宿泊



東北観光推進機構の長谷川国内事業部事業部長による 「東北の復興について」現状報告

ラスツーリズムエージェンシー（株）（東京都）の「役者が御案内する浅草ガイドツアー」、（二社）三島市観光協会（静岡県）の「三嶋大社正式参拝ツアー」、（有）地域観光プロデュースセンター（滋賀県）の「環境船めぐみ」で行く「冬の湖北・余呉の食と暮らし」、「訪ねる旅」の4点がそれぞれ受賞し、（株）全旅の池田孝昭代表取締役社長より表彰状が授与された。



A group of approximately ten people, mostly men in business attire, are standing behind a white table at a trade show booth. They are wearing green sashes with Japanese text. On the table in front of them are several large heads of cabbages of different varieties. The background features a red banner with white text that reads "ふくしま復興大市 定期行商協同組合福島支部" and a logo for "田町". There are also images of people on the banner.

A photograph showing a group of people at a food stall. A woman in a red kimono is serving food from a large blue pot. Other people are standing around, some looking at the food and others interacting with the vendor. The setting appears to be an indoor market or festival.



アトラクションでは地元の様々な催しがなされ大いに盛り上がった(交流会)。本場下仁田ネギ使用「牛すきやき」、「日本中が注目した「八ツ場ダム」・異国体験「ロツクハート城」お昼食は地元有名店・宮様も立ち寄られた「老舗割烹金幸」にて郷土料理を堪能!」の7ツアーガ実施され、約500名の会員等が参加した。

グリーンドーム前橋の会場内には多くのブースが出展され、（株）全旅では各支店によるブース展開を行うとともに、地元群馬県及び県内の各市町村をはじめ各県及び市町村のブースが各観光地の魅力をアピールしたほか、福島県支部が福島復興大市として地元農産物の販売を行うなど、東北観光復興のための展開がなされた。

フォーラム終了後、同会場において交流会が催された。地元実行委員会の武井哲郎委員長の開会挨拶で幕を開け、二階俊博会長による主催者挨拶、続いて、茂原璋男群馬県副知事の



富弘美術館・岩宿遺跡で古代料理の初体験」、「萩原朔太郎ゆかりの地文学散歩・群馬名物「焼き饅頭と水沢うどん」グルメの旅」、「藏人体验・水上スキーランドでの雪体验!秘湯かやぶき源泉宿での昼食に舌鼓」、「上信電鉄日本最古級の電気機関車「デキ」で行く世界遺産候補「富岡製糸場」と城下町小幡散策・プラス!大人気スイーツプラスク「ガトーフエスター・ラダ」本社工場立ち寄り」、「上信電鉄日本最古級の電気機関車「デキ」で行く世界遺産候補「富岡製糸場」と大河ドラマ「八重の桜」、「わたらせ渓谷鐵道で行くエクスカーションでは、翌24日(木)に「織都桐生街歩きとブルジル町大泉で本場サンバショーン」、「わたらせ渓谷鐵道で行くくぐみ」

「ランティアガイドが活躍」ツアーアイデアについて、田畠が無く農業体験のできない地域の歴史に着眼し、新たなツアーデザインが誕生した。田畠は、この企画を「地元の資源を活用した新しい観光商品開発」として、北海道農業振興局長賞を受賞した。田畠は、「この賞を受けることで、農業の魅力を広めたい」と語る。

続いて、着地型旅行の実践会員からの事例発表
（株）日本海トラベル（山形県）の後藤紀代表取締
役からは、地元大賞を受賞した「歴史



会長の塚越裕子氏の4人がパネリストとなり、それぞれの立場や見解から意見交換がなされた。

次回開催地への引継ぎでは、関東地方協議会の國谷一男議長より近畿地方協議会の中川安之議長へフオーラムの大会旗の引き継ぎが行われた。また、

ビ) オンステージ」が催され、群馬県内の各市町村からのパネラーカントリー」、「歴旅ぐんま」「ときめき大自然」、「体感! 商業観光」とそれぞれのテーマに沿つて、映像や実演などによるプレゼンテーションを行つた。ホームページの最後には、全出演者が登壇し、群馬県の郷土芸能である「八木節」が披露され、会場は大いに盛り上がつた。

続いて、当協会群馬県支部の小林聰理事より群馬宣言として「1. 東北・東日本観光復興キャンペーんに全会員が全力で取り組み、風評被害の払拭、正確な情報の是正、東北・東日本、



に盛り上がった「G旅オンステージ」

『第228回常務理事会を開催』
一般社団法人移行後の会議開催予定、
規程、規約の改正案等を協議



第228回常務理事会

第228回常務理事会が平成25年1月9日正午より当協会本部会議室で開催された。

成24年度国内旅程管理研修実施状況などが報告された。委員会報告では各委員長より、以下のとおり活動報告がなされた。

議題2・一般社団法人移行に伴う規程、規約改正(案)

専修学校推薦規程、参与の推薦基準、災害見舞等に関する取扱基準・義捐金に関する申し合わせ、理事会等における

予定の第10回国内観光活性化フォーラムについて述べられた後、報告事項に入り、本部事務局、地方協議会、委員会、(株)全旅

開催・①平成24年度苦情対応勉強会、②平成25年度苦情・弁済事業計画骨子
「総務財務委員会」11月19日
開催・規程規則の改定
「(株)全旅報告」第10回国内観光活性化フォーラムに向けた着地型旅行の造成、4月以降の保険、金融の準備について

る代理出席、本部理事会の傍聴手続き、部内会議等への本部出席に関する取扱い基準、海外事故発生時の支援費用に関する取扱い基準等の改正案が提案され、原案どおり承認された。

二階会長が韓国金塔産業勲章を受章



李明博大統領（当時）より二階会長に勳章を親授

「金塔産業勲章」(1等級)を
授与された。このたびの受章には、徳永雅典副会長、鈴木明治
副会長、池田孝昭(株)全旅代表取締役社長ほか関係者が同
行した。

この国家勲章は、経済交流や
革新的な商品開発などに貢献の
あつた者に贈られる勲章であり、
月29日～31日まで、韓国を訪
問し、1月30日には青瓦台(韓
国大統領府)において、李明博
大統領(当時)より同国勲章

二階会長に就いては、韓国との
経済や産業協力、また、ANTA
代表訪問団を平成24年7月1
日～3日に派遣するなど、麗水
世界博覧会の開催に尽力したこ
とをはじめ、日韓友好親善に貢
献したとして、授与された。

その後、二階会長と李明博大
統領による会談において、李大
統領は、「韓日両国が未来志向
的に進まなければならぬ。」
と語り、「二階会長は「両国の觀
光交流の新しい時代を開くた
め努力したい。」と応じた。

「ANTA 東北観光博応援ツアーザ」が終了
東北6県・隣接3県の会員により7514人を送客



岩手・宮城・秋田・山形・福島及び隣接3県（栃木・茨城・千葉）の9支部の会員が実施する東北観光博30ゾーンへの旅行について、その旅行代金の一部を助成する「ANTA東北観光博応援ツアーワーク」を昨年7月1日から12月31日までの6ヶ月間実施した。

当協会は、昨年11月より、東北及び東日本地域の風評被害の払拭と送客支援等を柱とする「東北・東日本観光復興支援キャンペーン」を観光庁の後援を得て継続して展開している。

このキャンペーンの一環とし

型企画旅行の送客数 5506人（宿泊 4810人、日帰り 696人）、手配旅行の送客数 922人（宿泊 764人、日帰り 158人）を達成し、宿泊と日帰りの合計で 7514人の旅行者の送客、各ゾーンでのお土産の購入等の旅行需要の喚起を通じて、被災エリアの観光復興を支援した。

東北全土30ゾーンを博覧会会場に見立てた「東北観光博」に全面的に協力し、当協会が積極的に推進したもの。

「地旅」で出会う 日本の笑顔 ようこそ、中国・四国 元気な日本へ！



—— 私たちは、東北・東日本の観光復興と日本各地の観光振興を応援します ——

東北・東日本 観光復興支援キャンペー ン実施中	正確な情報を提供します 東北・東日本への送客を支援します 東北地方への修学旅行の誘致に努めます 東北産食材の使用を働きかけます
-------------------------------	--

 社団法人 全国旅行業協会
ALL NIPPON TRAVEL AGENTS ASSOCIATION

後援
 觀光庁
 Japan Tourism Agency

こころ、むすぶ。
東北観光博 
東北がんばる運動会

あなたの旅で東北観光復興を応援しよう



震災復興観光推進国民会議 山形フォーラム(12月7日於:山形市)
業の復興は
道半ばで
あり、ま
た、日中國
交正常化
40周年を
機に拡大
機を期待し
た観光客
の訪日につ
いても、依
然厳しい状
況である。
これら
現状を踏
まえ、今な
お根強く
被害を払
拭すると

光需要は未だ厳しい状況にある。直接の震災による被害が無かった山形・秋田両県でも、風評被害により、全体的な回復の糸口が見つけられない状況が続いている。また、2011年度の外国人観光客動員数も、震災前と比べほぼ半減するとともに、国との関係が悪化したことによる観光客の減少も新たな問題となっている。東北の早期復興に向け、昨年の仙台フォーラムに続き、難しい課題を克服し、観光需要の喚起をいかに図っていくか考える場にしたい。」と述べた。

会として「東北・東日本観光復興支援キャンペーん」の展開や「ANTIA東北観光博応援ツアーワーク」の実施による旅行需要の喚起を通じ、東北の観光復興支援のため全会員が一丸となつて取り組んでいること、昨年8月に日中双方から600名が参加して、中国の西安にて実施された日中國交正常化40周年記念事業の「弘法大師・空海を偲ぶ日中交流使節団」が盛大に開催され、日中観光交流が成功裡に終えたこと、そして、今回の大震災の教訓から、日本の再生を図るためにには日本の復旧、復興へのしっかりととした対応が

いよる「観光立国」の推進に關する最近の動向と取組について」と題した基調講演がなされ、観光庁として震災後の取組みとして「東北観光博」の展開とアジア諸国からの観光客への施策、休暇を利用した旅行等による経済活性化を図る「ポジティブ・オフ」運動の提唱について述べられた。

その後、「観光による東北復興 第3次ステージ」をテーマとしたパネルディスカッションが行われ、パネリストによる活発な意見交換が行われた。

シンポジウムの最後に、船山龍二（社）日本観光振興協会副会長より、シンポジウムの取りまとめと新しい視点でのツーリズムを改革するための提案を含めた閉会挨拶がなされた。



井手竜文觀光庁長官による基調講演

観光振興により東日本大震災による被災地の復興を目指すことを目的とした「震災復興・観光推進国民会議」山形ファーラム——風評被害を乗り越えて——が昨年12月7日に山形市の山形テルサで開催され、約600名が参加した。

長戦略の柱である観光から目指すとともに、日中国交正常化40周年を祝い結成された「震災復興観光推進国民会議」が2011年12月に仙台市において開催された。そして、東北観光博をはじめとしたさまざまなものイベントの開催や観光によって回復を目指しているが、未だ多くの地域にて風評被害のな

とともに、震災に対し多くの支援をいただいたアジア各国からのインバウンドを引き続き拡大して、「観光で東北を元気にする」ことを目的に、風評被害に苦しむ山形の地でフォーラムを開催した。

A photograph of a man with dark hair and glasses, wearing a dark suit and tie, standing behind a podium and speaking. A red ribbon or microphone cover is visible on the podium.

必要であることと今後、万一災害が発生した場合でも減災が図られるよう国土を強靭化し、しなやかな国づくりを着実に進めることが、日本の観光の発展のために極めて重要であることが、述べられた。

平成24年度 会員実態調査集計報告書

(平成24年6月1日調査) 社団法人 全国旅行業協会

5. 第1種・第2種旅行業者の自社募集型企画旅行の実施／委託販売契約社数／構成

(1) 過去1年間での自社による「募集型企画旅行」の実施

調査対象の第1種・第2種会員2,512社のうち、調査票の提出があった1,102社中1,094社より本項目の回答があり、過去1年間で募集型企画旅行を「実施している」と回答した会員は767社(70.1%・前回調査:70.8%)となった。

(2) 自社募集型企画旅行商品の他社委託販売契約社数

『5.(1)』で自社による募集型企画旅行を「実施している」とした767社のうち172社より、他社で自社商品の委託販売を行う契約旅行業者数について回答があり、平均委託販売契約社数は22.5社(前回調査:27.0社)となった。なお、委託販売契約社数を無回答または0とした会員は595社となった。

(3) 過去1年間に実施した「募集型企画旅行」の構成

『5.(1)』で自社による募集型企画旅行を「実施している」とした767社のうち763社より、実施した「募集型企画旅行」の構成に回答があり、下記のとおりとなった。

※過去1年間に実施した「募集型企画旅行」の構成(複数回答可)

- ①フルパック(運送+宿泊+観光等)572社、②運送+観光(宿泊なし、日帰り)520社、③運送+宿泊(観光なし)152社、
 ④タイアップツアー 94社、⑤運送単品91社、⑥宿泊単品83社、⑦観光単品(現地集合解散の観光、施設、イベント、体験等)70社、⑧宿泊+観光(運送なし)61社、その他6社

※④「タイアップツアー」の内訳(複数回答可)

- …①行政・公的団体63社、②民間企業33社

※⑤「運送単品」の内訳(複数回答可)

- …①バス(高速ツアーバス等)49社、②航空機31社、③鉄道18社、④船舶15社

6. 第3種旅行業者の「地域限定の募集型企画旅行」の実施

調査対象の第3種会員2,977社のうち、調査票の提出があった1,262社中997社より本項目の回答があり、規制緩和を利用し地域限定の募集型企画旅行を「実施している」と回答した第3種会員は113社(11.3%・前回調査:8.6%)となった。

7. 過去1年間での「着地型旅行」(地旅)の実施

調査票の提出があった2,364社のうち2,254社より本項目の回答があり、「実施している」と回答した会員は258社(11.4%)となった。

8. 海外旅行の取り扱い／取扱国・地域

(1) 「海外旅行」の取り扱い

調査票の提出があった2,364社のうち、海外旅行の「取扱あり」と回答した会員が1,154社(48.8%)、「取扱なし」が1,210社(51.2%)となり、前回調査とほぼ同様に約半数に分かれた。

(2) 「海外旅行」で主に取り扱う国または地域

『8.(1)』にて海外旅行の「取扱あり」と回答した1,154社の主な送客国または地域は下記のとおりとなった。(上位20か国・地域、複数回答可)

- ①韓国989社、②中国778社、③台湾766社、④ハワイ546社、⑤タイ493社、⑥香港477社、⑦グアム432社、⑧マカオ344社、
 ⑨ベトナム325社、⑩シンガポール321社、⑪アメリカ本国284社、⑫イタリア278社、⑬フィリピン269社、⑭フランス262社、
 ⑮オーストラリア256社、⑯インドネシア226社、⑰カンボジア191社、⑱イギリス189社、⑲ドイツ189社、⑳マレーシア175社

9. 訪日旅行(インバウンド)の取り扱い／取扱国・地域

(1) 「訪日旅行」(インバウンド)の取り扱い

調査票の提出があった2,364社のうち訪日旅行の「取扱あり」と回答した会員は178社(7.5%・前回調査:6.7%)となった。

本調査は当協会に所属する正会員旅行業者5,489社(平成24年6月1日現在)を対象に、各会員の業務状況及び業務内容等の実態を把握するため、平成14年度から実施しているものである。

本年度については6月初旬、全会員に対して調査票を送付し、

7月10日を提出期限として、当協会本部事務局へ郵送にて返送する方法とした。

なお、昨年度(平成23年度)調査は、東日本大震災の発生及び原発事故等を考慮し休止された。

調査票の提出状況

調査票を送付した5,489社の正会員のうち2,364社から調査票の提出があり、全体の提出率は43.1%となった。(前回調査・平成22年度提出率:39.5%)

また、旅行業登録種別では内訳として、第1種会員提出数が21社(第1種会員所属数53社 提出率:39.6%)、第2種会員提出数が1,081社(第2種会員数2,459社 提出率:44.0%)、第3種会員提出数が1,262社(第3種会員数2,977社 提出率:42.4%)であった。

1. 従業員数

(1) 全従業員数

調査票の提出があった2,364社のうち2,345社より本項目の回答があった。

全従業員数は1社平均45.7人(前回調査:44.4人)となったが、全従業員5人以下が大半(55.7%)を占めた結果となった。

(2) 旅行部門従業員数

調査票の提出があった2,364社のうち2,240社より本項目の回答があった。

旅行業務に従事する従業員は1社平均5.7人(前回調査:5.2人)となり、旅行部門が5人以下の会員が全体の8割近くを占める。

(3) 旅行業務取扱管理者数

調査票の提出があった2,364社のうち1,533社より旅行業務取扱管理者数の回答があった。

総合旅行業務取扱管理者数は1社平均1.8人となり、一方、国内旅行業務取扱管理者は1社平均5.4人となった。

(4) 旅程管理業務主任者数

調査票の提出があった2,364社のうち1,290社より旅程管理業務主任者数の回答があった。

総合旅程管理業務主任者は1社平均1.9人となり、一方、国内旅程管理業務主任者は1社平均4.4人となった。

2. 兼業の有無

調査票の提出があった2,364社のうち2,265社より本項目の回答があり、「兼業がある」と回答した会員は1,239社(54.7%)、「兼業がない」と回答した会員は1,026社(45.3%)となった。

※「兼業がある」と回答した業種の内訳(複数回答可)

- ①バス事業414社、②損害保険代理店業404社、③不動産業125社、④タクシー・ハイヤー業121社、⑤小売業96社、
 ⑥飲食業81社、⑦ホテル・旅館業62社、⑧土産品販売業61社、⑨広告宣伝業38社、⑩鉄道業29社、⑪出版業6社、
 ⑫その他336社

3. 旅行契約別の売上比率(手配旅行:企画旅行:他社商品の代理販売)

旅行売上高全体を100%としたとき「手配旅行:企画旅行:他社商品の代理販売」の売上比率について、調査票の提出があった2,364社のうち2,304社より回答があり、全体での平均比率は、手配旅行の売上が約5割、企画旅行が約3割、他社商品の代理販売が約2割となった。

4. 国内旅行と海外旅行の売上比率

旅行売上高全体を100%としたときの「国内旅行:海外旅行」の売上比率について、調査票の提出があった2,364社のうち2,306社より回答があり、その平均比率は、国内旅行の売上が約8割、海外旅行が約2割となった。

活きた伝統、手つかずの自然、人々の笑顔に出会う ■ブータン政府観光局 菅 茜

中央アジア、ヒマラヤの莊厳な山々の中にひつそりとたたずむ雷龍の国（公用語のゾンカ語で「ダウク・リ・雷龍、ユル・リ・国」、ブータン王国）。2011年11月に、ご成婚されたばかりの第5代ジグミ・ケサル・ナムケル・ウン・チュク国王陛下、ゾエン・ペ・ワン・チュク王妃陛下が訪日し、福島の被災地を訪れ、東日本大震災後の復興に励む日本国民の心に響く演説を行ったことは、まだ皆さまの記憶にも新しいと思います。

ブータン王国は、「国民総幸福（GNH: Gross National Happiness）」という独自の概念を国の政策指針として掲げていることでも有名です。金錢的、物質的な豊かさのみならず、国民ひとりひとりの「幸福度」の向上を目指すことにより、急速な経済発展による様々な弊害をできる限り減らそうと、国を挙げて努めています。また、ほとんどのブータン国民は敬虔な仏教徒でもあります。



民族衣装の「ゴ」、「キラ」姿のブータン国王夫妻

ドライバーを雇うこと、またブータンのランドオペレーターを使うことが必須となり、旅行の質の低下を防ぐとともに、観光産業が国内の雇用機会の拡大に直接的に結びつくようないふねがされています。こうした先進的な取り組みは国際的にも評価され、2012年には太平洋アジア観光協会（PATA）の「Adventure Travel and Responsible Tourism Conference and Mart 2012」をブータンで開催、また世界旅行ツーリズム協議会（WTTCT）による“Tourism for Tomorrow's Destination Stewardship Award 2012”において、133の国と地域の中から、持続可能な観光開発を実践している観光地として、ファイナリスト3地域にノミネートされました。

■ブータンの観光資源：自然・文化・健康の3本柱
続いて、ブータンの「自然」「文化」「健康」の3つの観光資源の魅力をご紹介しましょう。

自然…ヒマラヤ山脈の懷に抱かれた手つかずの豊かな自然には、オグロヅル、レッドパンダ、ブルーシープ、蝶や高山植物などの希少な動植物が200種類以上生息しており、生物多様性における「ホットスポット」にも指定されています。トレッキング、ラфтティング、マウンテンハイキング等の環境に配慮したアトラクションで、ありのままの自然を存分に満喫していくなどことができます。

■素朴な人々…以上、自然・文化・健康の3本柱に基づいて、ブータンの観光資源をご紹介しましたが、何といても、ブータンの一番の魅力は、「素朴な人々」と言えるでしょう。訪日した国王陛下ご夫妻の印象的な民族衣装、穏やかで礼儀正しい物腰、堂々とした語り口、そして日本人とよく似た外見は、多くの日本人に好印象をもたらしましたが、それらは実は、ブータン国民全体と共に通する気質なのです。子どもたちも、カメラを向けても何のためらいもなく、屈託のない笑顔を振りまいてく

ます。僧院や各家庭の仏壇で、人々は毎日、全ての生きとし生けるものが災いから解き放たれ、昇天できるよう、そして幸福な来世を迎えることができるよう、祈りを捧げています。家族や友人との繋がりを何よりも大切にしている点も、ブータンの人々の特徴です。「日本が失いかけた大切なものが、ブータンには残っている。」ブータンにお越しになり、人々の何気ない日常を垣間見た日々おしゃいます。人口約70万人の小国に合った経済成長をとげるために、ヒマラヤの高低差を活用した水力発電による海外への送電事業に次いで、持続可能な観光開発にも力を入れているブータン王国。本稿では、そんなブータンへの旅の魅力をかいふまで、皆さまに紹介したいと思います。

■ブータンと日本
皇室同士の交流や開発援助を通して、古くから深い関係にあるブータンと日本。その中でも特筆すべきは、ブータンで唯一、外国人としてダシヨー（貴族・政府高官などに与えられる爵位）の称号を授与された、故・西岡京治氏の貢献です。西岡京治氏は1933年ソウル生まれ。1958年の西北ネバール学術探検隊、1962年の大阪府立大学東北ネバール学術調査隊に参加し、ヒマラヤ地方の農業に関する関心を深めていました。その後、1964年、援助される側であった日本が、援助する側に回った最初の国際プロジェクト、コロンボ計画の専門家として、国際協力

ます。僧院や各家庭の仏壇で、人々は毎日、全ての生きとし生けるものが災いから解き放たれ、昇天できるよう、そして幸福な来世を迎えることができるよう、祈りを捧げています。家族や友人との繋がりを何よりも大切にしている点も、ブータンの人々の特徴です。「日本が失いかけた大切なものが、ブータンには残っている。」ブータンにお越しになり、人々の何気ない日常を垣間見た日々おしゃいます。人口約70万人の小国に合った経済成長をとげるために、ヒマラヤの高低差を活用した水力発電による海外への送電事業に次いで、持続可能な観光開発にも力を入れているブータン王国。本稿では、そんなブータンへの旅の魅力をかいふまで、皆さまに紹介したいと思います。

■事業団（現・国際協力機構＝JICA）からブータンに派遣されました。当時はまだ鎖国状態近く、近代化が始まつばかりのブータンにおいて、西岡氏は日本式の稻作技術の導入、野菜栽培、ジャガイモやリンゴなどの換金作物栽培の振興に努め、当初は1992年に現地で亡くなるまで、28年に及びました。西岡氏の貢献により、ブータンの農業効率は飛躍的に伸び、ブータン政府はその功績をたたえて、「西岡チヨルテン（仏塔）」を、彼の職場であったデモンストレーション農場があるハロに建立しました。現在では「ダシヨー・ニシオカ」の名を知らないブータン人はおらず、また日本人観光客にとっても、西岡チヨルテンはほぼ必ずと言ひてよいほど訪れる名所となっています。

■事業団（現・国際協力機構＝JICA）からブータンに派遣されました。当時はまだ鎖国状態近く、近代化が始まつばかりのブータンにおいて、西岡氏は日本式の稻作技術の導入、野菜栽培、ジャガイモやリンゴなどの換金作物栽培の振興に努め、当初は1992年に現地で亡くなるまで、28年に及びました。西岡氏の貢献により、ブータンの農業効率は飛躍的に伸び、ブータン政府はその功績をたたえて、「西岡チヨルテン（仏塔）」を、彼の職場であったデモンストレーション農場があるハロに建立しました。現在では「ダシヨー・ニシオカ」の名を知らないブータン人はおらず、また日本人観光客にとっても、西岡チヨルテンはほぼ必ずと言ひてよいほど訪れる名所となっています。

在留邦人がブータンで暮らしています。2011年の国王ご夫妻訪日以降、日本人観光客数も急増し、2012年1月から12月の累計では6,967名と過去最高数を記録。対前年比77%の増加となりました。ブータン政府観光局では、今後益々日本からのお客様にブータンに越しいただくため、日本向けPRの強化に加え、ブータン人日本語ガイドの育成などの受け入れ態勢にも、今後より力を入れていく方針です。

■事業団（現・国際協力機構＝JICA）からブータンに派遣されました。当時はまだ鎖国状態近く、近代化が始まつばかりのブータンにおいて、西岡氏は日本式の稻作技術の導入、野菜栽培、ジャガイモやリンゴなどの換金作物栽培の振興に努め、当初は1992年に現地で亡くなるまで、28年に及びました。西岡氏の貢献により、ブータンの農業効率は飛躍的に伸び、ブータン政府はその功績をたたえて、「西岡チヨルテン（仏塔）」を、彼の職場であったデモンストレーション農場があるハロに建立しました。現在では「ダシヨー・ニシオカ」の名を知らないブータン人はおらず、また日本人観光客にとっても、西岡チヨルテンはほぼ必ずと言ひてよいほど訪れる名所となっています。

■事業団（現・国際協力機構＝JICA）からブータンに派遣されました。当時はまだ鎖国状態近く、近代化が始まつばかりのブータンにおいて、西岡氏は日本式の稻作技術の導入、野菜栽培、ジャガイモやリンゴなどの換金作物栽培の振興に努め、当初は1992年に現地で亡くなるまで、28年に及びました。西岡氏の貢献により、ブータンの農業効率は飛躍的に伸び、ブータン政府はその功績をたたえて、「西岡チヨルテン（仏塔）」を、彼の職場であったデモンストレーション農場があるハロに建立しました。現在では「ダシヨー・ニシオカ」の名を知らないブータン人はおらず、また日本人観光客にとっても、西岡チヨルテンはほぼ必ずと言ひてよいほど訪れる名所となっています。

■事業団（現・国際協力機構＝JICA）からブータンに派遣されました。当時はまだ鎖国状態近く、近代化が始まつばかりのブータンにおいて、西岡氏は日本式の稻作技術の導入、野菜栽培、ジャガイモやリンゴなどの換金作物栽培の振興に努め、当初は1992年に現地で亡くなるまで、28年に及びました。西岡氏の貢献により、ブータンの農業効率は飛躍的に伸び、ブータン政府はその功績をたたえて、「西岡チヨルテン（仏塔）」を、彼の職場であったデモンストレーション農場があるハロに建立しました。現在では「ダシヨー・ニシオカ」の名を知らないブータン人はおらず、また日本人観光客にとっても、西岡チヨルテンはほぼ必ずと言ひてよいほど訪れる名所となっています。

■四季の魅力
最後に、ブータンの四季を通した魅力をご紹介します。3～5月の春は気候が安定しており、美しいシャクナゲ（エドメト）、梨や林檎の花々が咲き誇る季節です。温暖なブナカでは、5月の約1か月間、ジャカラントの美しい紫色の花が観られます。6～8月の夏は雨期ですが、大雨が降り続くことは少なく、比較的冷涼で過ごしやすく、鮮やかな緑が山々を美しく覆います。松茸シーズンは8月中旬から1か月ほどで、驚くほど大量の松茸を、安価に堪能いただけます。9～11月の秋は祭の開催も多く、黄金色の稻穂が美しい季節。トレッキングにも最適なシーズンですが、観光客が多く、1年で最も込み合う時期ですので、早めのご旅行計画をお勧めします。12～2月の冬は寒さが厳しく、雪の降る地域もありますが、澄んだ空気の中、峰からはヒマラヤ山脈がくつきりと望めます。チベットからオグロゴルが飛来してくるのもこの時期です。

■祭（ツェチュ）の魅力
また、ブータンでは、「ツェチュ」と呼ばれる

神聖で伝統的な祭から、地域コミュニティ活性化のためのイベント、スポーツイベントまで、年間を通じて様々な祭が催されています。ツェチュは、ブータン中の各僧院で毎年、ブータン暦で月の10日に当たる日を祝う宗教的な行事で、高僧グル・リンポチエの生まれた日と一致するとされています。ツェチュの行われる月は地域によってまちまちです。「公定料金」は一人一泊当たり2,000～2,900ドルに定められており、（シーザン、人数により異なります）この中には、宿泊代（三ツ星ホテル以上の場合は適宜追加料金）、食事代、ガイド料、国内移動代（国内航空路線利用の場合には適宜追加料金）、トレンギング時のキャンプ設備・荷物運搬代が含まれています。ブータン政府への内国税65ドルも公定料金の中に含まれており、それらは国内のインフラ整備や貧困削減に充てられます。ブータン旅行においては、ガイドと

■ユニークで先進的な観光政策
ブータンのツーリズムは、GNHの政策に基づき、「High value, Low impact」というポリシーのもと、「持続可能な観光」を推進・実践している点で、非常にユニークかつ先進的であると言えます。観光産業の適正な発展には、観光資源での農業効率は飛躍的に伸び、ブータン政府はその功績をたたえて、「西岡チヨルテン（仏塔）」を、彼の職場であったデモンストレーション農場があるハロに建立しました。現在では「ダシヨー・ニシオカ」の名を知らないブータン人はおらず、また日本人観光客にとっても、西岡チヨルテンはほぼ必ずと言ひてよいほど訪れる名所となっています。

■ユニークで先進的な観光政策
ブータンのツーリズムは、GNHの政策に基づき、「High value, Low impact」というポリシーのもと、「持続可能な観光」を推進・実践している点で、非常にユニークかつ先進的であると言えます。観光産業の適正な発展には、観

詳しく述べはJICAホームページをご覧ください。

<http://www.jica.go.jp/publication/j-world/1205/index.html>

写真・文=谷本美加(写真家)

漁の戻りを待つ人々。
遠浅の海岸では、
船上で漁師たちが
水揚げの準備をしている

ナカラ回廊への支援で 資源産業と農業の発展を

豊富な天然資源と、農業に適した肥沃な大地を有するモザンビーク。

その特性を生かし経済発展と人々の生活向上を図るべく、

JICAは北部のナカラ回廊周辺地域で包括的な支援を進めている。

17年にもおよんだ内戦が1992年に終結したモザンビーク。その後、政府による財政・税制改革が功を奏し、2000年代以降は6%～8%の経済成長率を順調に維持している。しかし、まだ国家財政の約4割を海外からの支援に依存しており、産業もアルミ精錬など例外の約8割が農業に従事している。また、人



国による大規模な資源開発プロジェクトに限られている。また、人の約8割が農業に従事していることから、セラード開発の経験をモザンビークの農業開発

アフリカ東岸の天然の良港であるナカラ港。
今後日本からの支援を経て、
地域の貿易の拠点となることが期待される



ごくわずかだが夕方から漁に出る漁船もある



首都：マプト
面積：79.9万km²
(日本の約2.1倍)
人口：約2,339万人(2010年)
言語：ポルトガル語
宗教：キリスト教、イスラム教、原始宗教
1人当たり国民総所得(GNI)：440ドル(2010年)
経路：直行便ではなく、ヨハネスブルグなどの乗り継ぎが一般的。
通貨：メティカル(MZN) 1MZN=約2.95円(2012年4月現在)
気候：南部は亜熱帯性気候、中部と北部は熱帯性気候に属する。

10～3月は雨期で高温多湿、4～9月は乾期で比較的涼しく過ごしやすい。



首都マプトの中心部は高層ビルが建ち並び交通量も多い

ものの、そのほとんどが安定した収入が得られない小規模農家。この現状を改善し、彼ら自身の手で自立した国づくりを進められるよう、JICAは農業開発などを通じて新たな産業創出による経済発展と雇用促進を図り、貧困削減に貢献するための支援を展開している。そこで特に重点を置いて取り組んでいるのが「ナカラ回廊開発プログラム」だ。北部一帯のナカラ回廊周辺地域には広大な農業適地が存在するほか、品質の高い石炭など豊富な地下資源が埋蔵されている。世界第2位の埋蔵量といわれる天然ガスの開発も、昨年から始まったところだ。JICAは「日本・ブラジル・モザンビーク三角協力※」によるアフリカ熱帯サバンナ農業開発(P·ro SAVANA J·B·M)と、同地域の道路、港湾橋、学校など「社会経済インフラ開発」を一本柱に、ナカラ地域が「経済回廊」として発展成長することを目指して支援を行っている。

この三角協力で生かされているのが、70年代、作物栽培に不適とされていたブラジルのセラード地域開発の経験。日本は土壤改良や灌漑設備の整備、品種改良、入植事業に対する資金協力・事業実施管理などを支援し、同地域を大豆や野菜などの一大生産地に変ぼうさせた歴史がある。ブラジルとモザンビークは共にポルトガル語圏であり、対象地域の緯度がほぼ同じで気候も似ていることから、セラード開発の経験をモザンビークの農業開発

に応用していく。具体的には、大豆・キャッサバ・トウモロコシのほか、商品作物である綿花やカシュー・ナツの生産性向上や新規品種の導入に向け、農業研究者の育成や研究施設整備、回廊沿線のモデル地域での計画づくり、品種選定や栽培方法の構築、農業技術の普及などを実施・拡張工事が完了すれば、ナカラ回廊の建設が円借款で進められていける。また、回廊と海外のゲートウェイであるナカラ港の改修・拡張工事が完了すれば、ナカラ回廊から最も近い港として、鉱物資源や農作物などの流通、輸送が期待される。これに加え、貧困層の生

活向上に直結する社会インフラの整備も並行して行われて

いる。教育分野では

中学校や教員養成

学校の建設、また保

健分野でも保健人

の経験をモザンビークの農業開発

に応用していく。具体的には、大豆・キャッサバ・トウモロコシのほか、商品作物である綿花やカシュー・ナツの生産性向上や新規品種の導入に向け、農業研究者の育成や研究施設整備、回廊沿線のモデル地域での計画づくり、品種選定や栽培方法の構築、農業技術の普及などを実施・拡張工事が完了すれば、ナカラ回廊から最も近い港として、鉱物資源や農作物などの流通、輸送が期待される。これに加え、貧困層の生

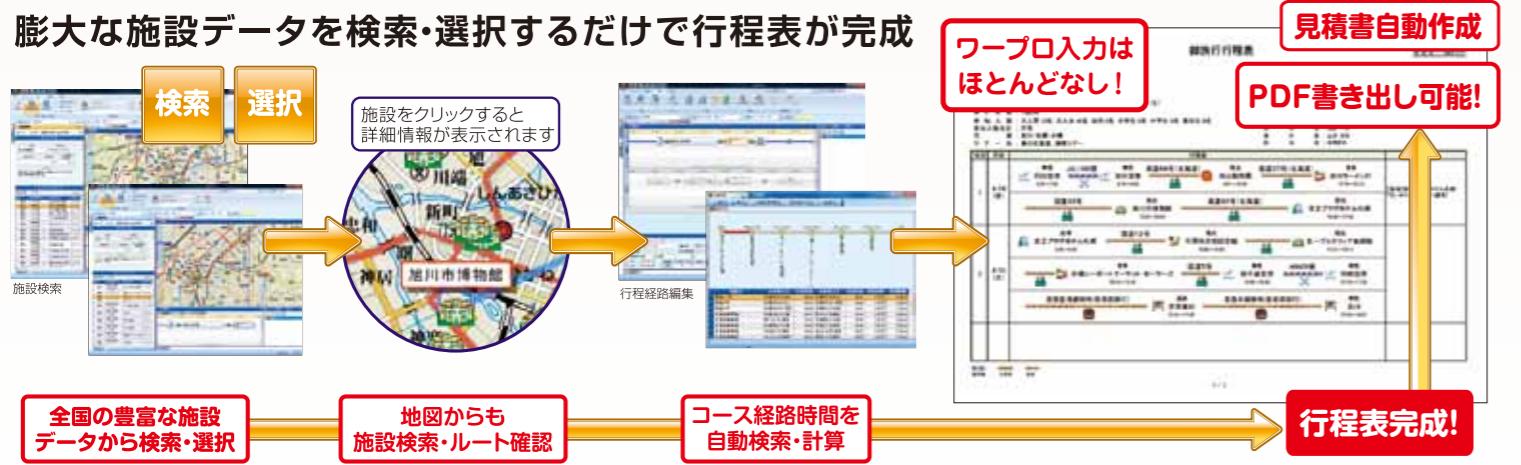
活向上に直結する社会インフラの整備も並行して行われて



あつ という間に 行程表・見積書 ができる

旅行業営業支援 ネットワークシステム TR.NS

膨大な施設データを検索・選択するだけで行程表が完成



「TR.NS」は業界最大級のデータベースを搭載しているので、編集し、オリジナルの行程表を作成することもできます。

観光施設や宿泊施設の情報も1つ1つ探し手間が省け、作業時間の短縮につながります。出発時間から到着時間の算出はもちろん、データに更新されます。データメンテナンスの手間もなく、いつでも最新のデータをご利用いただけます。※

また、地図を使った検索画面により、操作しやすく簡単に行程表を作成することができます。さらにPDF出力だけではなく、エクセルデータに書き出すことができ、書き出したエクセルデータを

これにより、急な旅行プランの変更でも効率よくプラン作成することができ、顧客への提案も迅速に行え、信頼度アップ、顧客満足度アップにもつながります。

業界最大級のデータベース搭載

観光施設データ

約100,000件

道路・移動データ

時間・距離・料金

宿泊施設データ

約18,000件

時刻表データ

鉄道・飛行機・船

学校地点データ

約70,000件

2012年2月現在

ブロードリーフでは、豊富なラインナップをご提供中!

営業支援＆社内業務支援システム

旅行業システムSP

営業マンの事務作業を軽減し、営業効率アップ! 営業活動時間の足枷となるいる国内旅行行程表・見積書の作成時間を大幅に短縮します。

観光バス・貸切バス事業者向けシステム

バス運行管理システムSP

距離・時間・経路を自動算出!
適正運行指示で安全運行をサポート!
バスの予約受付から運行指示書、日報管理・配車予定・運行実績管理で業務効率を支援します。

次世代ファイル管理システム

Ex@Pad

タブレットツールで
お客様に効果的な
ご提案を実現!



*当サービスの内容については万全を期していますが、弊社は一切誤りがないことを保証しません。

製品の詳しい説明や、
資料請求・無料デモの
お申込みは

www.broadleaf.co.jp

トラベルート

検索

メールでのお問い合わせは… product_info@broadleaf.co.jp

株式会社ブロードリーフ

特販部 旅行営業課 **0120-47-2610**

第93回

適正な旅行広告作成のために

新聞広告を見て



富田 英毅
(とみた ひでき)

昭和42年(株)日本旅行入社。営業部門を経て、法務関係業務に従事。その間、JATA広告等適正化部会部会長を歴任。旅行業公正取引協議会 元事務局次長。兵庫県姫路市出身。

お客様が並んで待っていたところ、「今日は、100名様で終了です。」と言わされたら、クレームになること必至です。

旅行の場合、インターネットでの申し込みになると思いますが、発売と同時に40名を超える人数の団体の申し込みがあったときに、申し込みを受けられないとなると、「先着〇〇〇名様」との表示は、虚偽の表示になってしまいます。やはり、1旅行開始日あたりの先着人数を表示すべきと考えます。

3番目は、今回見た海外旅行の広告では、ほとんどの旅行業者が燃油サーチャージを旅行代金に含めた表示をしていますが、C社のヨーロッパ旅行の表示では、燃油サーチャージが旅行代金に含まれるものになっていません。

例えば、オランダ・ベルギーの旅行では、旅行代金199,800円～269,800円の表示に近接して「燃油サーチャージ(目安・45,000円 平成24年12月27日現在、また、日本の空港施設使用料および現地空港諸税が別途必要となります。)」と表示しています。

燃油サーチャージを旅行代金に含むものにすると、旅行代金の表示は、244,800円～314,800円になります。燃油サーチャージを含まないものに比べて大変高いものになります。現在は、いずれの表示方法でもよいとされているようですが、最終的には、いずれの表示方法であってもお客様が旅行業者に支払う金額は、244,800円～314,800円ですから、お客様の正しい商品選択を確保するためにも、足し算をしないと旅行代金がわからないような表示方法はやめて、燃油サーチャージは、旅行代金に含まれるものとして表示する方法に統一すべきと考えます。

以上、1～3番目までは、表示の問題です。

さすがに、いずれの旅行業者の広告も、旅行業法に規定する広告表示に必要な事項が欠如したものはありません。

4番目は、これらの広告を景品類の面から確認してみました。

いずれの広告にも、「〇〇プレゼント」とか「特典〇〇〇」等と称して提供する景品類はほとんどありません。景品類の提供での競争より、旅行代金やホテルや食事や旅行サービスという旅行の本質的な面での競争をしているということがよくわかります。これは、旅行広告として望ましい姿です。

景品表示法の景品規制は、近年ずいぶん緩和されてきました。

総付景品は、取引価額の20%、一般懸賞は、取引価額が5,000円以上の場合は10万円まで、オープン懸賞は無制限になりました。

以前、この連載で書きましたが、この緩和は、旅行業界にとっては、大きなビジネスチャンスとなります。旅行は、他の業界が行う景品付き販売の景品に最も相応しい商品です。景品規制に関して、正しい知識をもって他業界に旅行を売り込んでください。

今回見てきた広告は、各社パターン化して作成しているので、前述したように広告表示に必要な事項を欠いたものはありません。

ただ、そのようなものであっても、実際の旅行の内容が広告の表示内容と異なる場合に問題になります。異なることになった理由が天災地変等の不可抗力による場合は、別にして、広告をした時点で実現可能性のないものや旅行業者の過失で手配ができなかったようなときは不当表示の問題になります。

そのようなことにならないことを願うのみです。

COLUMN

第17回

添乗からのメッセージ

庄司 正昭
(しょうじ まさあき)



お客様のアンケートから

添乗員は薬を渡していいの?

添乗員を一番悩ませ、かつ一番力をくれるものは、いったい何でしょうか?
答えは、旅行終了時のアンケート…

私の場合これほど悩まされ、これほど力をくれたものは、他に見当たりません。

何千枚と書かれた私自身のアンケートの中には、添乗員として人間として自分を成長させてくれるアンケートもあれば、…??? というアンケートもたくさんありました。

今回は、最新のアンケートの中にあった添乗員と薬についてとりあげてみます。

昨年末に出たツアーで頂いたアンケートの中に、気になるものがありました。

それは、「添乗員は風邪薬を持っていないのですか?」というものです。これを書かれたお客様は、ツアー最終日の愛媛県・道後温泉で熱をだし、私に風邪薬をもっているか聞いてきました。持っていないことをお伝えし、近くの薬局をフロントで確認、病院に行く意思があるかどうかを確認しましたが、結局、お客様自身で市販の風邪薬を買ってきました。



添乗員は、お客様に薬(飲み薬)をさしあげていいのでしょうか?

厳密に言うと、医師でも薬剤師でもない添乗員が、飲み薬をさしあげることは、基本的にはできません。アレルギー、副作用の恐れもあるので、差し上げないということが、正解になります。

実際、添乗員が薬を渡してしまい、後にクレームになった例もいくつかあります。

例えば、A旅行業者に派遣された添乗員は、お客様から風邪薬を持っているか聞かれ、自分個人用として持っていた風邪薬を渡しました。これを服用したお客様が、体中に発疹が出て、高熱も出てしまい、動けなくななり入院していました。

この旅行業者は、お客様が入院した時点で募集型企画旅行を旅行業者の側から契約解除したそうです。

ツアー終了後、旅行業者は、返金できるものは返金しましたが、退院したお客様より、「入院し旅行を最後まで楽しめなかつたのは、添乗員がくれた薬のせいだから、この部分の精神的な補償はどうなるのか?」という連絡がありました。

この場合、風邪薬を要求したのはお客様本人であり、添乗員も善意でさしあげたのだから、問題はない…と言いたいところですが…

ちなみに、この派遣添乗員は、以後、このA旅行業者の添乗は、できなくなってしまったそうです。

この例は、極端な例ではありますが、添乗員と薬の関係についての問題を提起している一例ではないでしょうか。

複数の旅行業者、添乗員派遣会社の教育担当者に、添乗員と薬についてどのように指導しているか確認したところ、「添乗員はお客様に薬を渡してはいけない。」と指導されている…とのことです。

副作用、アレルギー等の問題で責任を問われる可能性がある以上、当然のことと思います。

ところが、一方で旅行業者の中には、お客様用として添乗員に薬を持たせる会社もあります。

その旅行業者に聞いてみたところ、「添乗員には、お客様に薬をお渡しする際に必ず説明書を読んでいただくよう指導している。」「薬の中身は内服薬であっても市販の薬、つまり医師の判断がなくても購入できるもののみ入っています。」「薬を渡すのは、あくまでサービスのひとつとされています。」とのことでした。

では、このように旅行業者から薬を渡された添乗員は、どうすればよいのでしょうか?会社から渡された薬だから…という理由で、安いにお渡しして良いものでしょうか? 大変むずかしい問題ですが、この時にポイントとなるのが、添乗員の薬の渡し方ではないか…と思います。

具体的に言えば、「○○○という薬を持ってはいますが、服用に関しては自己責任になります。」ということを、しっかりとお客様に説明し同意を得るということです。

本来でしたら、お客様に一筆書いていただきたいところです。しかし、サービス業である以上、それも難しいですが…。

ある医療関係者に、この添乗員と薬の問題を確認したところ、やはり「一般論としては、市販薬であったとしても、添乗員がお客様に薬を渡することはするべきではない。それが善意だったとしても、薬事法違反に問われかねないので。添乗員が旅行会社から市販薬を持たされた場合などは、ツアーの始めなど事前に、すべてのお客様に対して添乗員が持っている市販薬を説明し、服用は自己責任であることの同意を得ておくことができれば、たとえ服用後に何かあったとしても、添乗員個人の責任が問われることはないのではないか。」という答えでした。

また、この方からは、「旅行業界としては、添乗員が薬を渡すことの是非だけではなく、添乗各地で適切な医療機関をどれだけ見つけることができるか、その環境整備の問題も重要だと思います。」というご意見も頂きました。

実際、日本の旅行業者の中には、世界の主な都市にいわゆる「かかりつけ医」を持っている会社もあるようですが、旅行医学という分野から考えると、これはとても大切なこと思います。

こういった医療体制の確保というのも、これから時代、団体旅行に必要な大きな要素になっていくものと思われます。



季節によって趣きが異なる東京湾を、江戸情緒あふれる屋形船で周遊。お台場やレインボーブリッジ、スカイツリーの夜景など東京を観光するにはぴたりです。隅田川でのお花見や、夏の花火大会はもちろん、オールシーズン各種イベントにもご利用ください。食事は板前がつくる会席料理。2名様から乗船できる乗合船就航、無料送迎バスあり。

洗トイレを毎月デターメンテナンスで更新している通信方式で、毎月データ料金も飲み放題つき。

施設内容スカイツリーコース(お花見クルーズ)

【料金】中金グルメプラン10,650円(税込)、小町グルメプラン13,650円(税込)※3プランとも飲み放題つき。

松花堂ランチプラン7,350円(税込)※3プランなど

【料金】中金グルメプラン10,500円(税込)、小町グルメプラン13,500円(税込)※3プランなど

【料金】中金グルメプラン10,500円(税込)、小町グルメプラン13

フィールドアスレチック(水上コース)

フィールドアスレチック(ファミリーコース)

飯盒炊さん
お1人様 1,200円
《セット内容》材料・用具一式(6人用)／お米6合・たまねぎ・じゃがいも・にんじん・豚肉・カレールー・サラダ油・食器・飯盒・鍋・包丁・まな板・しゃぶしゃぶ玉・ボル・ザル・薪・洗剤・スポンジ・スチールタシ
※ご注文は、40名様以上の団体様のみ承ります。

清水公園

千葉県野田市にある約28万平方メートルの広さを有する自然公園で、フィールドアスレチックやニジマス釣り、広いフラワーガーデンや、ポニー牧場など様々な施設があります。また、ログキャビン、バンガロー、持込テントエリア、オートキャンプ場やバーベキューなど、充実した施設を完備。「林間学校」「スポーツ少年団・ボーイスカウト宿泊」など幅広くご利用いただけます。また、プール・テニスコート・野球場・陸上競技場などを備えた野田市総合公園も隣接。企業団体の福利厚生や、スポーツ団体の活動にも年間を通じてご利用ください。

キャンプ場(バーベキュー)

バーベキュー食材のご案内

大人1,900円 子供1,400円
(セット内容) 食材(1人分)／牛肉・豚肉・ホタテ・ソーセージ・焼きそば(ソース付)・キャベツ・たまねぎ・ピーマン・なす・かぼちゃ・もやし・バナナ・焼肉のタレ・サラダ油 用具／バーベキュー炉・炭・鉄板・ヘラ・割りばし・紙皿
※ご注文は、20名様以上から1名様単位で承ります。(子供料金は、小学生以下限定で食材半分となります)

バーベキュー 松風苑 BARBECUE
楽しく、仲間やファミリーで

料金
● 団体様向けバーベキューセット料金 お一人様分1,900円 (20名様以上から1名単位にて賜ります。)
● 学校団体様向け飯盒炊さんセット料金 お一人様分 1,200円 (小・中・高等学校の40名様以上の団体様の御利用となります。)

交通
電車の場合: 東武野田線清水公園駅西口より徒歩約10分
車の場合: 常磐自動車道流山ICより松戸野田道路経由で約12km

詳しくはHPまで www.shimizu-kouen.com

お問い合わせ 株式会社千秋社 清水公園 TEL278-0043 千葉県野田市清水906番地 TEL.04-7125-3030 FAX.04-7122-1670

前頁より

さて、このお客様と薬についての対応は、JR、航空会社、バス会社、ホテル、それなどのようになっているのでしょうか？各関係機関に確認したものをまとめると、以下のようになります。

①JR東日本 お問い合わせセンター

(新幹線等に薬は積んでいるかどうかの問い合わせに対して)

「基本的に医療行為はできないので、アレルギー、副作用等の心配がある傷薬、内服薬は車内にはありません。包帯を巻くという行為も医療行為になりますので外傷に対して絆創膏をさしあげるくらいです。あくまでも、基本は救急手配のみということになります。」



②日本航空

(ホームページJALプライオリティー・ゲストサポートおよびお客様センターより)

「酔い止め、鎮痛剤を日本航空グループ全便に搭載。機内に医師がいる場合には、その指示のもとに使用できるドクターズキット(点滴、注射類、縫合用器具等)も搭載。ただし、飛行機の機材によっては不搭載。」



*実際にキャビン・アテンダントに頭痛薬をお願いしたところ(羽田→函館)

日本航空1165便内にて)、一番後部座席の後ろのボックス内からプラスチック・ケースに入った薬を持ってきてください。

(1)どんな薬が機内にあるのか、実際の薬をお客様に見せて説明。

(2)お客様自身に薬を選ばせ、説明書を見ながらキャビン・アテンダ

ントとお客様2人で用法を確認。

(3)最後に、今飲むかどうかの確認。

以上の手順で薬をくださいました。

③はとバス お客様サービス課

「医療行為になりますので、いっさい薬は積んでいません。不安があれば薬はお客様各自でお持ちいただくことになります。」

④ホテル、旅館(複数のホテル、旅館にて確認)

「薬箱を置き、一般に購入できる風邪薬、胃腸薬程度は差し上げる。」



「基本的には、近くの薬局や病院をご案内する。」

というのがホテル、旅館では一般的でした。ただなかには「薬は差し上げない。」…とはっきり言い切るところもありました。その理由として「薬剤師もいないのに、お客様に薬を渡すのは薬事法により問題があると考えます。たとえ営利目的ではないとしても、つねづねサービスとして薬を渡しているような場合は、業としての営業目的とみなされる可能性があるからです。あの有名な整腸剤・ビオフェルミンでもだめだと考えます。」というものでした。ちなみに上記でいうところの薬事法とは薬事法第24条のことと思われます。

添乗員という立場では、薬や医療の知識をどの程度持ていれば良いのか?…と考えさせられるときがあります。年々、お客様のアンケートの評価は厳しくなる一方です。添乗員は、全てをきちんとできたり前と思われています。対処のむずかしい医療の問題であっても、最低限の医療知識が求められ、旅行医学の知識があるかないかで添乗員の評価が変わってくる時代がくるのかもしれません。

遊覧船で九十九島クルーズを

「花の王国」開催中のハウステンボス

ハウステンボスへのご旅行のご用命をお待ちしております

エイチ・ティ・ディ・ビィ観光株式会社(ハウステンボス観光)

四季折々の表情を見せるテーマパーク「ハウステンボス」の入国口前に立地する旅行会社。ハウステンボスを起点とした長崎市内、九十九島、平戸など周辺地域への日帰りバスツアーをご用意しています。昨年末からは羽田・伊丹発 ハウステンボス園内のホテルにお泊まりいただくパッケージツアーも新規展開。代理店様からの委託契約のお問い合わせをお待ちしています。

ハウステンボス発日帰りツアーエリア

- 口マンティイツクディ・トリップ長崎観光コース: 平和公園・グラバー園・出島へご案内する番人気の定番コース。下車地は長崎駅・長崎空港・ハウステンボスからお選びいただけます。
- 口マンティイツクディ・トリップ九十九島観光コース: 九十九島の蒼い海と緑の島の美しいコントラストを満喫。
- 映画「あなた」のロケ地を巡る歴史とロマンの平戸コース: 3月末までの限定コース・鰯茶漬定食の平戸食付。

● お問い合わせください。

羽田・伊丹発パッケージツアーエリア

- 口マンティイツクディ・トリップ長崎観光バスツアー受付: 8時30分~17時
- 住所:〒859-3292 長崎県佐世保市ハウステンボス町1-1
- TEL: 0956(27)0290
- FAX: 0956(27)0291
- E-mail: haito@hdtv.jp
- 受付時間: 10時~18時

ハウステンボス周辺の観光情報を取り揃えて、ハウステンボス入国棟で皆様をお待ちしております!

神奈川県・中区
フカヒレ専門店 廣翔記 関内館

中国元国家主席・江澤民政専属料理人を務めた王永祥シェフらが腕をふるう「廣翔記」が提供する、素材に拘り、ステップに拘り、主席専用レンジに拘ったゴラーゲンたっぷりのフカヒレ料理は横浜中華街で話題沸騰!ただいま一日50組限定の「豪華フカヒレ極みコース」を割引価格の4,980円で大奉仕中!お伝えしたい美味しさが此処にあります。

【施設内容】全館260席・エレベーター完備、各種個室完備、大小宴会に対応可能。

【お料理】フカヒレ刺身 約90g フカヒレ姿煮(1人1枚)、北京ダック、アワビ、ツバメの巣など12品

【営業時間】11時~22時30分(LO 22時) 年中無休、年末始業年始休業。

【交通】JR根岸線「関内駅」北口徒歩2分

【住所】〒231-0014 神奈川県横浜市中区常盤町3-24 廣翔記ビル

【電話】TEL 045(680)5818 FAX 045(680)5818 WEB <http://koushiki-daiji.jp> 予約・お問合せ 0120(660)168(全館共通)

話題の「フカヒレ極みコース」は極上フカヒレ姿煮1人1枚 約90gが付きます!

外観

2階の中広間5名様~最大28名様までご利用可能です
関内館VIPルームも是非ご活用下さい

元国家主席専属料理人を務めた王永祥シェフらが腕をふるう「廣翔記」が、

一日50組限定の(豪華フカヒレ極みコース)4,980円で大奉仕!

平成24年12月・25年1月 正会員退会者

● 平成24年12月分

登録番号	名称又は商号	代表者
福島県 2-338	(株)西根旅行	大槻 巍
茨城県 2-511	松本ツアーセンター	松本 繁則
埼玉県 3-704	(株)ニュー東武観光岩槻	齋藤 博
埼玉県 3-824	旅工房ハヤシ観光	林 富士男
東京都 2-6008	(株)ワールドフレンドプロデュース	滝川 玲子
東京都 3-6474	(株)メディカルサプライジャパン	藤本 清
山梨県 2-88	山梨交通観光バス(株)	水口 紀
長野県 2-144	田川竜王トラベル	横溝 正枝
富山県 3-94	越路観光	浄土 正一
愛知県 3-958	(有)エムズ(エムズ旅テラス)	松永 矩雄
京都府 3-275	京滋旅行	豊原 統和
岡山県 2-196	(株)とらや(立間旅行サービス)	花川 典大
岡山県 2-282	竹内観光	竹内 清志
香川県 3-165	ドリームトラベル(有)	須川 俊宣
愛媛県 3-100	(有)愛媛中島旅行センター(中島旅行センター)	玉井 宏直

● 平成25年1月分

登録番号	名称又は商号	代表者
北海道 3-189	(株)北王ツーリスト	近藤 保則
北海道 3-233	(株)北海道リゾートライン	安岡 美枝
茨城県 3-375	ニューツアーズ	池田 新一
栃木県 3-644	ヤマゼンコミュニケーションズ(株)	山本征一郎
埼玉県 3-489	みどり観光	功刀 博
埼玉県 2-916	(株)エフネットスポーツ	金子 諭
千葉県 2-291	千倉ツーリスト	浅沼洋一郎
千葉県 3-697	(有)二軒家(シー・エス・ツーリスト)	須藤 郁雄
東京都 3-992	(有)協和旅行会	清水 正雄
東京都 2-2293	青和観光(株)	青木 茂
東京都 3-4892	(有)ダブリュー・アイ・エル(ティングインターナショナル)	鈴木 智子
東京都 3-6158	みやもトラベル(株)(泰達国際ジャーニー)	宮本 正
神奈川県 3-442	茅ヶ崎旅行センター	本間 清和
山梨県 3-170	河野観光	河野 辰男
長野県 3-449	(有)たび企画	関口 繁行
静岡県 3-367	(有)トラベルスカイ	後藤 和芳
愛知県 3-617	(株)新日本観光サービス	石原 政己
京都府 2-473	(株)メンバーズゴルフサービス(アジアクラブトラベル)	遠藤 好幸
大阪府 3-2579	(株)周	上田 泰
高知県 3-86	(有)ジョイトラベル	高島 祥策

平成24年12月・25年1月 正会員入会者

● 平成24年12月分

登録日 入会日	登録番号	名称又は商号	代表者
H24.11.27 H24.12.03	青森県 2-148	三八五交通(株)	小笠原 修
H24.11.28 H24.12.06	埼玉県 3-1109	A. N. Y トラベル	寺岡 忠
H24.11.27 H24.12.05	埼玉県 3-1110	(株)クレス・ファイブ(シーファイブトラベル)	古川 正彦
H24.12.05 H24.12.07	埼玉県 2-1111	渡辺旅行サロン(バケーションツアー)	渡邊 潔
H24.12.04 H24.12.13	千葉県 3-871	(株)シー・エス・ツーリスト	須藤 郁雄
H24.12.27 H24.12.28	東京都 3-6594	バイン(株)	田原 敏郎
H24.12.27 H24.12.27	東京都 3-6595	(株)ア・ラ・ゼウス(アラゼウス トラベル)	西澤 新
H24.12.27 H24.12.27	東京都 2-6596	(株)デイトリップ	鈴木 昭成
H24.12.27 H24.12.28	東京都 2-6597	ロングランプランニング(株)(カンフェティの旅)	榑松 大剛
H24.11.27 S56.02.10	群馬県 3-470※	ニュージャパンツーリスト	小野里喜一
H24.11.21 H15.02.19	新潟県 3-378※	(株)プリーズ	垂井 健

● 平成25年1月分

登録日 入会日	登録番号	名称又は商号	代表者
H25.01.17 H25.01.28	栃木県 2-683	ファーストタクシーサービス(株)(ファーストトラベル)	保坂 和夫
H25.01.18 H25.01.30	群馬県 2-473	上毛電気鉄道(株)	古澤 和秋
H25.01.17 H25.01.21	千葉県 3-872	(株)富士インターナショナル	陳 秀珠
H23.08.18 H25.01.23	東京都 3-6462	(株)セカンドステージ	今野 陽太
H25.01.10 H25.01.15	東京都 3-6598	(株)オートルモンジャポン	平山 幸枝
H25.01.10 H25.01.22	東京都 3-6599	(株)青和観光トラベル	青木 茂
H25.01.10 H25.01.10	東京都 2-6600	国内旅行(株)	松井 成道
H25.01.11 H25.01.11	長野県 2-546	(株)タガワ	常田 理恵
H24.08.02 H25.01.23	石川県 3-257	(株)The Art of Travel	吉井 健司
H25.01.15 H25.01.17	愛知県 3-1341	(株)スマイルツーリスト	後藤 直也
H24.02.20 H25.01.23	京都府 3-610	(合)まいづる広域観光公社	斎藤 友幸
H22.03.19 H25.01.23	大阪府 2-2545	(株)アイ・ティ・エス	谷本 篤
H24.12.14 H25.01.23	大阪府 3-2652	(株)ワールドツーリスト	林 章
H25.01.17 H25.01.17	大阪府 3-2654	S K トラベル	来住 晋
H25.01.11 H25.01.11	兵庫県 3-691	(株)ネイブルツアー	中田 寿樹
H25.01.15 H25.01.18	兵庫県 3-692	(株)ガリバー旅行社	藤井 弘文
H25.01.15 H25.01.22	香川県 2-238	四国観光トラベル(株)	藤田 武
H25.01.18 H25.01.21	香川県 2-239	東交トラベル(株)	川畠 亮
H25.01.25 H25.01.31	高知県 2-111	(株)まじかる(まじかるトラベル)	西尾 啓介
H21.09.14 H25.01.23	福岡県 2-433	(株)ティー・アイ・プロジェクト	石川 哲也
H25.01.17 H25.01.25	長崎県 3-165	佐世保市交通局	原口 優秀
H25.01.21 H25.01.28	鹿児島県 2-234	(有)幸穂(旅フレンド鹿児島)	坂下 裕之
H25.01.17 H15.02.26	栃木県 2-682※	葵観光	松本 善明

登録番号の※印は当協会制度による「会員資格継続」を示す。「名称又は商号」の(合同)は合同会社の法人形態、(一社)は一般社団法人の略称を示す。



株式会社全旅 揭示板

保険事業部

平成25年4月版の制度商品の改訂パンフレットを
3月10日頃に全国の会員の皆様の本社・営業所に到着するよう
お送りしております。

今回お送りしている募集資料

全旅協旅行災害補償制度	事故報告書にご担当者の印鑑をいただく書式になっております。
全旅協海外企画旅行補償制度	加入依頼書の書式が若干変更になっております。
全旅協サービス海外旅行補償制度	従来の3契約タイプに新しい契約タイプが追加されました。
全旅協航空機欠航保険	遅延の場合の補償を明文化しております。 事故報告書を作成いたしました。

*全旅協旅行災害補償制度と海外企画旅行補償制度につきましては、掛金・補償内容等に変更はありません。

<お問い合わせ先>

株式会社 全旅 保険事業部

104-0061 東京都中央区銀座1-15-4 銀座一丁目ビル6F

TEL 03-5250-2002 FAX 03-5250-2010



(株)日本旅行の販売システム《aLine(アルファライン)》の精算が
全旅クーポンで可能となりました!

★(株)日本旅行様の赤い風船・日本の宿・旅の宴ま帳等の国内商品、マッハ・ベスト等の海外商品が取扱可能。

★(株)日本旅行様への保証金が不要。

★(株)日本旅行様へのお支払は全旅クーポンで行いますので、精算は月1回。

通常の全旅クーポン代金請求書に計上されます。

★会員様での全旅クーポン発券操作が不要。

《a Line》で予約確定すると、ANTANEで全旅クーポンデータが自動作成されます。

★お手続きは簡単。お申込書と委任状をご提出いただけます。

(会員様と(株)日本旅行様との提携契約を弊社が代理して締結致します。)

※別途、初期導入費用:パソコン1台目 10,500円(消費税込) 2台目以降 5,250円/台(消費税込)

利用料:[台数に関係無く]:毎月5,250円(消費税込)が掛かります。

※全旅クーポン送客会員様に限ります。また海外商品の取扱いは総合旅行業務取扱管理者選任会社に限ります。

お問合せ先:(株)全旅 クーポン事業部 TEL 03-5250-2088 FAX 03-5250-2085

商品エントリー受付中

●大賞賞金
賞金五十万円

●エントリー受付締切
平成二十五年四月末日

第四回 地旅大賞



募集要項

【応募資格】ANTA会員

【応募期間】平成二十五年二月四日より平成二十五年四月末日まで随時受付。

【選考基準】「地旅認定要件」を満たし、地元自治体、NPO、地域住民、観光関係団体等と協力して企画・造成した地旅商品であって、平成二十五年三月～平成二十五年十二月末までに実際に販売(集客)された商品。

【各賞選考】(予定)

エントリーされた地旅商品の企画内容並びに販売(集客)実績、一般消費者からのインターネット投票結果を基に、別途選考委員会を開催し、各賞を決定。販売(集客)実績は、平成二十五年三月から平成二十五年十二月末までの販売(集客)実績を、平成二十六年一月中に各エントリー会員から実績報告を受ける形で集計する。インターネット投票は、平成二十五年三月から平成二十五年十二月末までの有効投票数を集計する。

【各賞・賞金】(予定)

地旅大賞(一点) 賞金 五十万円 優秀賞(二点) 賞金 三十万円 特別賞(五点) 賞金 十万円 計 八点

※各賞選考、各賞・賞金は変更になる場合があります。

認定要件

(1)「テーマや目的」が、明確に示されている旅行であること。

(2)自然景観、生活文化、歴史遺産など、地域資源の保全に取り組んだ旅行であること。

(3)地元の人たち、地域の各種団体(自治体・観光協会・NPOなど)と協力して企画・造成されている旅行であること。

(4)地域の食材や伝統工芸品など、地域の物産を生かした広く地域振興に貢献出来る旅行であること。

(5)地域と密接に関係したテーマ(地元の人たちとの交流や体験機会)が設定され、当該地域ならではの生活文化や産業などの魅力を楽しく伝えるための観光素材(地域案内人の確保など)が含まれている旅行であること。

地域活性化と旅行業の更なる発展を担う、貴社地旅商品エントリーを心よりお待ちしております

第四回地旅大賞 商品エントリー専用ホームページ URL

<http://jitabi.ne.jp/4th-entry/>

※ご不明な点、お問合せは…

株式会社全旅「第四回地旅大賞」係

TEL 03-5250-2088

Mail 4th-entry@jitabi.ne.jp



ここが新しい!

4月1日から随時申込みを受付けます

平成25年4月1日から7月31日まで、順次受付いたします
(各日受入台数に達し次第受付終了)。申込みは、webとFAXで受付けをいたします。

お振込み順に許可を確定

申込み後早めに振込めば、4月早々に許可台数を確保できますので、許可車両として募集をかけられます。

4月早々の許可確定も!

申込み後2週間以内に
お振込みのできる方に限ります。

バス予約のメリット

① バス降車場から風の盆の最寄りの会場(西町)まで徒歩5分!
八尾を代表する石垣の町並みを一望できます。

② 台数制限で混雑緩和、待ち時間の短縮。

受入台数…9月1日:300台、9月2日:300台、9月3日:200台 合計800台

駐車スペースの大きさと乗降所周辺での混雑と事故を防止し、ご来町される方に満足いただくために受入台数を制限いたします。ご理解とご協力をお願いします。
(対象車両) 営業用バス(車両の大小を問わず)・自家用バス(マイクロバス除く)

③ 当日配布用ガイドマップを事前にお届け。

予約バス台数に応じた冊数をお送りいたします。

④ **予約受付手数料不要。許可バス1台につき協力金40,000円。**

観光バス駐車場にかかる運営費や乗降所周辺の安全・安心を確保するための警備費として駐車許可バス1台につき40,000円の協力金をお振り込みいただきます。

以前より申込みが
簡単になっていました。

- ① 予約手数料の無料
- ② 協力金振込み順で抽選の廃止
- ③ 受付期間の拡大 122日間
(4月1日~7月31日まで)
- ④ webとFaxで簡単申込み
- ⑤ <http://www.yatsuo.net/kazenobon/bus/>

申込み受付から
許可証の受取まで

申込み
4月1日~
7月31日

納入案内
受信

協力金
の振込
2週間以内

予約
確定

許可証
発行
8月上旬

許可証
受取
8月中旬

問い合わせ先… (一社)越中八尾観光協会

〒939-2342 富山県富山市八尾町上新町2898-1

tel:076-454-5138 fax:076-454-6321

<http://www.yatsuo.net/kankou/>

おわらバス予約

検索

4月1日より
バス予約受付

当選者5名様 にクオカードが当たる!

パズルでひと息

- タテのカギ
- ① 精神分析の手法の一つ。
 - ② たびたび繰り返す、○○の災難。
 - ③ 空中小姐。
 - ④ 論術に長じた人。
 - ⑤ 人は○○…。紀貫之
 - ⑥ スコット・トゥローの司法ミステリー。
- ヨコのカギ
- ⑨ 名所や名称を寄せ集めました、名所○○に美人○○。
 - ⑩ 鎏治を代表する最大上大業物、「○○の孫穴」。
 - ⑪ ラムネを入れる透明な○○玉。
 - ⑫ 男も女も、○○も若きも。

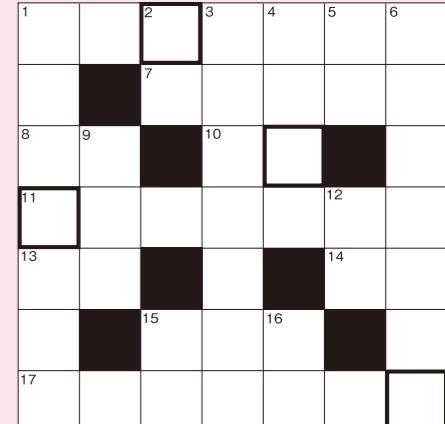
- ⑬ エンブレムは「T」の二段重ね。
- ⑭ 欧米では「コーナーストーンを置く儀式」。
- ⑮ 台所洗剤・たばこ・ソ連のロケット・月の女神。
- ⑯ 女子は跳馬、段違い平行棒、平均台に○○。
- ⑰ マイナー・プラネット。
- ⑱ 大原となる洛北の景勝地。
- ⑲ 5人組歌手のメンバーの一人「○○タク」。
- ⑳ かつて、当て字で備電画・軒画音機・磁気像など…。
- ㉑ マーク・トウェンの生死が、天文ショーの○○○○○○○○と同期



プレゼント

ハガキに答えと会社住所・社名・氏名・所属支部・旅行業登録番号・本誌の感想を書いて、お送り下さい。〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-20 田中山ビル5F 全国旅行業協会「パズル」係 正解者の中から抽選で5名の方にクオカード千円分を差し上げます。締め切りは、4月25日。商品の発送をもって発表にかえさせていただきます。なお、正解は次号に掲載します。

黒太杵に入る字の順序を考え、答えを見つけてください。
【ヒント】水に浮きます



1・2月号のパズルの答え

ナ	イ	フ	テ	ナ	一
ミ	ロ	ク	ボ	サ	ツ
カ	ロ	ン	グ	パ	ス
ゼ	ニ	ヨ	リ	キ	
チ	ユ	マ	キ		
サ	ボ	ウ	カ	ケ	ラ
ド	ツ	キ	ン	グ	イ



全旅協の動き

2月1日~3月31日

2月1日(金)	常任委員長会議
2月6日(水)	全旅協第1回苦情対応勉強会(東京)
2月12日(火)	第22回苦情弁済委員会
2月17日(木)	一般社団法人福島県旅行業協会設立総会(福島)
2月18日(金)	第13回指導調査広報委員会
2月19日(火)	第2月回経営推進委員会
2月20日(水)	第14回一般社団法人移行特別委員会
2月21日(木)	平成24年度資格者研修(秋田)
2月22日(金)	平成24年度資格者研修(岡山)
2月26日(火)	平成24年度資格者研修(大阪)
2月27日(水)	平成24年度資格者研修(北海道・石川・三重)
2月28日(木)	平成24年度資格者研修(埼玉)
2月29日(金)	平成24年度第4回関東地方協議会支部長会議(埼玉)
3月1日(土)	第32回支部長会議(東京)
3月2日(日)	監査法人監査
3月3日(月)	第15回一般社団法人移行特別委員会
3月4日(火)	平成24年度資格者研修(長野)
3月5日(水)	第229回常務理事会
3月6日(木)	第39回東北各県支部役員会合同懇談会(山形)
3月7日(金)	第4回試験研修実務小委員会
3月8日(土)	平成24年度資格者研修(福島)
3月12日(木)	第10回国内観光活性化フォーラム準備委員会
3月13日(金)	一般社団法人移行経理説明会・支部事務局長会議、弁済副管理役会(埼玉)
3月14日(土)	第5回試験研修実務小委員会
3月15日(日)	第3・4回監事監査
3月16日(月)	第1回試験研修実務小委員会
3月17日(火)	監査法人監査
3月18日(水)	第1回試験研修実務小委員会
3月19日(木)	第2回監事監査
3月20日(金)	第1回試験研修実務小委員会
3月21日(土)	第1回試験研修実務小委員会
3月22日(日)	監査法人監査
3月23日(月)	第1回試験研修実務小委員会
3月24日(火)	第1回試験研修実務小委員会
3月25日(水)	第1回試験研修実務小委員会
3月26日(木)	第1回試験研修実務小委員会
3月27日(金)	第1回試験研修実務小委員会
3月28日(土)	第1回試験研修実務小委員会
3月29日(日)	監査法人監査
3月30日(月)	第1回試験研修実務小委員会
3月31日(火)	第1回試験研修実務小委員会

() 内は開催地。無記載は全旅協本部事務局

渡航情報(スポット情報)

問い合わせ先

◆外務省領事局 領事サービスセンター(海外安全担当)
TEL: 03-5501-8162 (直通)
TEL: 03-3580-3311 (代表)
(内線 2902・2903)

◆インターネット/外務省海外安全ホームページ
<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

全旅協〈旅行災害補償制度〉で 安心をシッカリとかたちに しています。



平成25年3月1日発行(奇数月1日発行)昭和45年1月19日 第3種郵便物認可 定価350円／定期購読料(12回分) 3,850円(送料・消費税含む)
本会員の購読料は本会会費に含まれております。発行所(社)全国旅行業協会 東京都港区虎ノ門4-1-20 田中山ビル5F
〒105-0001 TEL 03-5401-3661 FAX 03-5401-3661 ホームページアドレス <http://www.antaj.or.jp>

幹事会社／株式会社 損害保険ジャパン



副幹事会社／三井住友海上火災保険株式会社



アリアンツ火災海上保険株式会社



「全旅協旅行災害補償制度」のお問い合わせは、
下記までお願い致します。

株式会社 損害保険ジャパン

営業開発第一部第三課

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1

TEL.03(3349)4037

